

ひとレポート

実施日：2月21日 科目名：おもしろ「子ども科学手作りおもちゃ体験」科
講座テーマ：「生物と細胞」＜細胞学を感動的に＞
講師：音田輝元先生

- ◆01 人間 60 兆の細胞が日々生きていることを知り、自分の身体の不思議さに驚くばかり！
- ◆02 ‘生きる’というテーマを細胞の話から考えてみると、また違った視点で見ることが出来ました。「1 個の細胞」はすごいですね。
- ◆03 細胞の世界から死や死後に関する考え方を聞くことが出来て、大変良かったです。
- ◆04 細胞としての死と生命としての死は違うという認識を得ました。おもしろかったです。
- ◆05 生命と細胞を学んで「生」の不思議を感じました。
- ◆06 「生と死」を科学的に細胞から教えていただいて、大変参考になりました。
- ◆07 「心の世界＝信仰の世界」があることによって「科学の世界」が冷静に進歩していくのではないだろうか。
- ◆08 1年間興味深い「科学の講座」ありがとうございました。
- ◆09 科学⇒自然科学⇒生物、奥が深いな～！
- ◆10「生物と細胞」知らなかった事を知って、驚く事が多く、頭の中の整理が追いつきません。まして「生きているとはどういう事か」を理解するにはまだ、時間がかかりそうです。
- ◆11 細胞のすごさ幹細胞の寿命ヒール細胞は、今なお生き続けている事に驚き。
- ◆12 細胞、人間の生と死、考えさせる時間でした。いつまでも活力のある人生時間を。
- ◆13 細胞これからの世界に重要な事で、とても興味深かったです。
- ◆14 細胞の事、普段考える事がない内容ですが、とても楽しく勉強できました。
- ◆15 科学と精神から見た生物と細胞、奥の深い話でした。
- ◆16 ノミ、シラミの実物の写生を見たのは良かった。
- ◆17 脳死と臓器移植を考える基本を学びました。
- ◆18 生、死に簡素にまとめられ、哲学ですね。
- ◆19 知らない事が多く、興味深い内容でした。大変勉強に成りました。
- ◆20 ボクナンカ、タンサイボウデ、アキマヘン。
- ◆21 すべての生物は細胞からできているんですね！ おもしろい授業でした。
- ◆22 火の鳥は正しかった。原子の世界では次に鳥になるかも？ 虫になるかも？ 木になるかも？
- ◆22 細胞人間なのだ。 もっと永く生きられる。
- ◆23 生物学って奥が深くて、もっと色々学びたいと思いました。
- ◆24 生物の細胞についていろいろな視点から勉強できたが「まとめ」の「死んだらどうなるか」は、多くのことを感じ、考えさせられました。
- ◆25 身近なことでありながら、あまり考えない細胞の話。「生と死」までふれてもらいよくつながりました。

- ◆26 身近なテーマであるが、知らない事ばかりである事を再確認しました。
- ◆27 考えたこともなかった細胞のこと→死。哲学的？
- ◆28 子どもにも大人にも興味をもて、感心する講義内容。流石です。大人には、「死」についてもう少し深い内容にしてほしいと思いました。
- ◆29 多細胞生物の個体の死と細胞の死が違うということが興味深く学べた。
- ◆30 細胞とは「生きている最小単位」細胞について知ること生物とは答えがみちびきだされる。
- ◆31 細胞から人の死 そして心の問題に行くおもしろさ、エンマ様に舌を抜かれないよう正直に生きましょう。
- ◆32 生命の深さを感じる授業でした。生と死について考えさせられました。
- ◆33 人間の身体には60兆コの細胞があるとは驚きです。科学と心楽しく付き合います。
- ◆34 名細胞とは生きている最小単位死について「人間の死」と「心の世界」の死とごちゃに出来ない点に注意したい。
- ◆35 生き物としての死、人間という心を持つ生き物の死、複雑な思いできました。
- ◆36 ふだん細胞のことなど考えていなかった。しかし自分も細胞から出来ているのだと思うとなんかすごいことを勉強したなと思った。
- ◆37 人の身体は200種類の細胞でできていると思うと面白いなと思いました。人の死を科学的に考えた時、何だかなーと思いました。
- ◆38 はじめは難しい感じがしましたが心と科学については本当に思う事が多かったです。

CDのひとロレポート

「人間は200種類の細胞でできていて、60兆個の細胞がある」白血球・神経細胞・唾液を作る細胞・・・など、ほんとうに驚きと不思議を感じます。

「細胞は生きている」そして「その細胞は原子分子でできている」・・・色々考えてみると、調べたくなってきました。じっくり調べてみようと思います。

記：高松真津子